

第24回 日本太鼓 全国障害者大会

心に響け「ドンドン」フェスティバル

2022年10月23日(日)
御殿場市民会館

開場11:30 開演12:00



主催： [公財] 日本太鼓財団
NIPPON TAIKO FOUNDATION

共催：社会福祉法人 富岳会

主管：日本太鼓財団静岡県支部

協賛：Supported by  日本 THE NIPPON FOUNDATION

後援：厚生労働省、文化庁、静岡県、静岡県教育委員会、御殿場市、御殿場市教育委員会、
社会福祉法人 全国社会福祉協議会、社会福祉法人 静岡県社会福祉協議会、
社会福祉法人 御殿場市社会福祉協議会

ご挨拶

公益財団法人 日本太鼓財団
理事長 大澤 和彦



昨今の台風等の災害により亡くなられた方のご冥福をお祈り申し上げますとともに、そのご家族や被災された方々に、心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。

公益財団法人日本太鼓財団は、本年設立25周年を迎え、新たに滋賀県、和歌山県の2支部が開設されました。現在43都道府県に47支部となり、加盟団体数約670団体、会員総数約18,000人を数えております。日本の太鼓は、老若男女、また障害の有無に関わらず、国籍を問わずますます多くの方に愛好されております。

全身を使ってリズムを刻む日本太鼓の演奏は、健常者のみならず障害のある方の療育に効用があることが立証されており、社会福祉法人富岳会においては、40年以上前から補助セラピーや自己表現の手段として太鼓を取り入れられております。本大会は1998年に、富岳会主催により「第1回全国障害者太鼓演奏会」が開催された折、「是非とも数多くの障害者団体にも出演機会を」との声をいただき、その後当財団主催、富岳会共催として実施しております。このような中、第24回日本太鼓全国障害者大会が開催できますことは誠に喜ばしいことであります。出場される団体の皆さまには日頃の練習の成果を十分に発揮され、さらに日本太鼓を通じて全国の仲間との交流を図り、友好を深め、いつまでも胸に残る大会となりますことを期待いたします。

なお、本大会は当財団が策定した「太鼓演奏における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に基づく感染予防対策を講じながら、実施いたします。参加される皆さまにはご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力をいただければと存じます。

最後に、当財団の活動に多大なご支援をいただいております日本財団及びポートルース関係者、また本大会にご支援ご協力をいただきました厚生労働省、文化庁、静岡県、静岡県教育委員会、御殿場市、御殿場市教育委員会、社会福祉法人全国社会福祉協議会をはじめとする関係各位、共催の社会福祉法人富岳会、そして主管団体の日本太鼓財団静岡県支部の皆さまに心からお礼を申し上げます。

ご祝辞

静岡県知事
川勝 平太



「第24回日本太鼓全国障害者大会」が、ここ“ふじのくに”静岡県で開催されますこと
をお慶び申し上げますとともに、全国各地からお越しいただきました皆様に県民を代表
して心より歓迎いたします。

また、長きにわたり、障害のある方々の文化芸術活動に大きく御尽力されてきました
公益財団法人日本太鼓財団並びに社会福祉法人富岳会の皆様に対し、深く敬意を表します。

障害のある方々にとりましては、日本太鼓をはじめとした文化芸術活動は人生を豊か
にし、創造性や他者を尊重する心を育む貴重なものであり、自立と社会参加の促進に大
きく寄与するものと存じます。

本年8月に、静岡県は、日本、中国、韓国の3か国による文化芸術振興を図る取組で
ある「2023年東アジア文化都市」に選定されました。来年は、日本の文化の中心、すな
わち「文化首都」として、各都市との交流を図り、本県が持つ文化力を遺憾なく発揮す
べく、多彩な取組を進めていく所存です。

このような中、全国各地から日本太鼓に情熱を燃やす皆様が一堂に会し、力強い演奏
が繰り広げられることは、「文化首都」静岡県の幕開けにつながるものと大いに期待する
ところです。

出演される皆様におかれましては、日頃の練習の成果を存分に発揮されますとともに、
全国からお集まりの仲間との交流を深めていただき、実り多い大会となりますことを
願っております。

結びに、本大会の御成功と、公益財団法人日本太鼓財団及び社会福祉法人富岳会のま
ますの御発展、並びに関係する皆様の一層の御活躍をお祈り申し上げ、お祝いの言葉
といたします。

ご祝辞

御殿場市長
勝又 正美



「第24回日本太鼓全国障害者大会」が、平成29年の第19回大会以来5年ぶりに御殿場市におきまして、盛大に開催されますことをお慶び申し上げますとともに、御殿場市民を代表し全国からお集りいただきました皆様を心から歓迎いたします。

本市は、世界文化遺産「富士山」と箱根外輪山に囲まれた、緑豊かな高原都市であり、「日本一の富士山で日本最高の太鼓の祭典を」を合言葉に、夏の観光イベントの一つとして、「富士山太鼓まつり」が毎年開催されております。

本大会に多大なご尽力とご協力をいただいております、社会福祉法人富岳会様の「富岳太鼓」をはじめ、市内の中学校太鼓クラブや市民団体による演奏活動など、日ごろから太鼓による演奏が身近な存在として市民にも十分に認識されております。

日本太鼓の演奏は、日本各地の伝統的な祭事において、また、音楽療法の一環としても行われており、その音色や奏者たちの姿は人々の心に「故郷」の記憶を呼び起こします。

ハンディキャップをかかえた奏者の皆様が勇壮に太鼓を叩く姿とともに、その迫力ある音色のすばらしさを最後までご覧いただきたいと存じます。

観客の皆様から心温まる拍手や声援をいただくことは、奏者にとって大きな喜びであり、今後の演奏活動の更なる励みになるものと考えております。

この大会が、障害のあるなしにかかわらず、共に暮らし、共に活動できるノーマライゼーションの理念に基づき、相互理解のもとで、ともに地域社会で生活していくことの一助となることを願っております。

結びに、本大会を開催するにあたり、ご尽力を賜りました公益財団法人日本太鼓財団様や社会福祉法人富岳会様をはじめとした関係者の皆様に心より感謝と敬意を申し上げますとともに、本大会の成功と本日参加いただいております全ての皆様の今後益々のご活躍とご多幸を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

ご挨拶

社会福祉法人 富岳会
理事長 山内 剛



本日、富岳会の地元、静岡県御殿場市におきまして、第24回日本太鼓全国障害者大会が開催できますこと心より御礼申し上げます。また主催であります公益財団法人日本太鼓財団並びに協賛をいただきます公益財団法人日本財団、そしてご後援をいただきました静岡県、そして御殿場市をはじめとします多くの団体のみなさまのご協力に深く感謝申し上げます。

長引くコロナ禍の中でようやく3年ぶりの開催にこぎつけました、この日本太鼓全国障害者大会。さかのぼれば第1回は同じ静岡県の静岡市にありますコンベンション・アーツセンター・グランシップでの開催でありました。しかしその前年にプレ大会をこの御殿場市民会館で開催していることはあまり知る人はおりません。当時はバックアップしていただける団体もなく、富岳会の職員が御殿場市内の企業や商店をまわり協賛金を募り、集まった僅かな資金と、私たちの趣旨にご賛同いただける10団体にも満たない太鼓チームの参加での開催でした。その大会を視察に来られた日本太鼓財団塩見和子前理事長の「この素晴らしい大会を絶やしてはいけない」との一声によって、日本太鼓財団の事業として正式に取り上げられ現在に至っております。生みの親が富岳会ならば育ての親は日本太鼓財団と言えるのがこの大会です。そしてこの大会をきっかけに障害のある人たちの太鼓活動が広がり、多くの団体に日本太鼓障害者大会の舞台に立つという目標を与える大会となりました。そして第24回を迎えた本年は、コロナウイルス感染拡大防止のなか、練習会場や時間の制限や極端に減ってしまった公演など、数々の困難を乗り越えた北は東北福島県、南は九州大分県から18団体が参加して日ごろの稽古の成果を披露して下さいます。

こうして日本太鼓の持つミュージックセラピーとスポーツセラピーの両面を兼ねそろえた独特の特性は様々な障害のある方々に受け入れられ、リハビリテーション、療育としての太鼓は勿論のこと、障害者の社会参加、文化・芸術活動にまで広がりを見せています。

本大会の主管であります日本太鼓財団静岡県支部と共催の社会福祉法人富岳会は日本太鼓全国障害者大会の発祥の地としての誇りと責任を胸に、今後も日本太鼓文化の発展のため積極的に活動を展開してゆく所存しております。

ただ今から舞台上で練り広げられます太鼓の演奏は、障害という壁を超越した魂の響きです。きっと観る人、聴く人に人間の計り知れない可能性を伝え、勇気と生きるパワーを与えてくれることでしょう。そして本日この会場にお越しくださいました皆様が、この感動を一人でも多くの人に伝えて頂けることを祈念いたしまして私の挨拶とさせていただきます。本日はご来場いただきまして誠にありがとうございます。

ご挨拶

日本太鼓財団 静岡県支部
支部長 青柳 勝久



「第24回日本太鼓全国障害者大会」が静岡県御殿場市において開催されるにあたり、日本太鼓財団静岡県支部を代表し、全国からお越しいただいた出場者の皆様、ご来場いただきました皆様に心より歓迎申し上げます。

全国障害者大会は第1回を富岳会のご尽力により御殿場で開催し、この大会の核をつくっていただき、回数を重ねていくことで内容が充実してきていると確信しております。

新型コロナウイルスの感染は未だ収束には至らず、昨年、一昨年と多くの大会等が中止となりました。徐々にではありますが様々な行動制限が緩和されており、今後活発な活動が再開されていくものと期待しております。

日本太鼓は、老若男女、障害の有無等、国籍を問わず益々多くの方々に愛好されております。本日出場される皆様には、日頃の練習の成果を存分に発揮して、全国の仲間と交流を深めていただくとともに、皆様の心にも大きく響く一日となることを願っております。また、ご来場いただきました皆様には、今大会に向けて努力された成果をご覧いただき、太鼓の素晴らしさを一人でも多くの方々に感じていただければ幸いです。

結びに、開催にあたりご支援、ご協力いただきました関係者の皆様、運営に携わっていただいたスタッフの皆様に心から感謝申し上げますとともに、ご来場の皆様のご健勝、ご多幸を祈念申し上げ挨拶とさせていただきます。



第24回日本太鼓全国障害者大会プログラム
心に響け「ドンドン」フェスティバル

■ 開会式

■ 演 奏

1. 富岳太鼓 竜神組 (静岡県)・・・ 8
Fugaku Taiko “Ryujin-kumi” from Shizuoka
2. 夢ん鼓 (東京都)・・・ 9
Yumenko from Tokyo
3. 社会福祉法人 同朋福祉会 あそかの園 同朋太鼓 (山口県)・・・ 10
Asokanosono “Doho Taiko” from Yamaguchi
4. 豊中ろう和太鼓クラブ「鼓響」 (大阪府)・・・ 11
Toyonaka Deaf Taiko Club “Kobiki” from Osaka
5. やまびこ太鼓 (福島県)・・・ 12
Yamabiko Taiko from Fukushima
6. 石川県立明和特別支援学校「龍剣太鼓」OB会 (石川県)・・・ 13
Meiwa Special Support School “Ryuken Taiko” Graduates from Ishikawa
7. 甲斐乃和太鼓 心響会 (山梨県)・・・ 14
Kai-no-Wadaiko “Shinkyō-kai” from Yamanashi
8. 石川県立ろう学校 風神太鼓 (石川県)・・・ 15
Ishikawa Deaf School “Fujin Taiko” from Ishikawa
9. 金谷大井川川越し太鼓浜松チャレンジチーム (静岡県)・・・ 16
Kanaya Oigawa Kawagoshi Taiko Hamamatsu Challenge Team from Shizuoka

-
10. 伊豆医療福祉センター どんつく・やわら太鼓 (静岡県)・・・ 17
Izu Medical Welfare Center “Dontsuku” and “Yawara Taiko” from Shizuoka
 11. 岩淵組 (東京都)・・・ 18
Iwabuchi-kumi from Tokyo
 12. 大分県糸口学園 糸口太鼓 (大分県)・・・ 19
Itoguchi Taiko from Oita
 13. 徳島県立国府支援学校 和太鼓部 (徳島県)・・・ 20
Kokufu Specall Support School Taiko Club from Tokushima
 14. 大江戸助六流東京ろう者和太鼓倶楽部「鼓友会」 (東京都)・・・ 21
Tokyo Deaf Taiko Club “Koyu-kai” from Tokyo
 15. ファミリーユニット童鼓 (岐阜県)・・・ 22
Family Unit “Dokko” from Gifu
 16. ひとみ太鼓 (兵庫県)・・・ 23
Hitomi Taiko from Hyogo
 17. 恵那のまつり太鼓 (岐阜県)・・・ 24
Ena-no-matsuri Taiko from Gifu
 18. 金谷大井川川越し太鼓チャレンジチーム (静岡県)・・・ 25
Kanaya Oigawa Kawagoshi Taiko Challenge Team from Shizuoka

1

ふ がく たい こ りゅう じん ぐみ
富岳太鼓 竜神組

静岡県



富岳太鼓は静岡県御殿場市の社会福祉法人 富岳会の太鼓団体です。1977年に山内令子富岳会理事長（当時）が、知的ハンディを抱える施設利用者の方たちのセラピーとして和太鼓に着目したことにより設立されました。全ての曲は富士山にまつわる神話、民話、自然がテーマであり、富岳会理事長、富岳太鼓代表の山内剛氏によるオリジナル創作太鼓です。

富士山の天候変化は目まぐるしく、穏やかだった空ににわかに暗雲が立ち込め、突然の豪雨は激流となって土砂とともに斜面を一気に降り、木々をなぎ倒します。また駿河湾から吹き上げる風は、山小屋を木の葉のように高く舞いあげるほどの突風となります。「疾風迅雷」は富岳、富士山の動と静とを太鼓の響きと人間の肉体とで表した曲です。

富岳太鼓 竜神組は和太鼓療育を通じて集まった、何より太鼓が大好きな方たちです。

代表者：山内 剛

久保田真喜／芹澤 加奈／芹澤 里奈／三橋 磨美／竜田奈津美／高森 春香
田代愛利咲／石原 純／勝俣 宏祐／小林 依愛／江口 拓巳／樋口 琢士

2

ゆめ
こ
夢ん鼓

東京都



2011年、北海道でソロ活動したデフ太鼓パフォーマー TETSUYAが独特なスタイルの太鼓を追求しようと、「夢ん鼓」を正式に設立する。

2018年より、東京都杉並区を活動拠点に移し、聴覚障害者を中心にオリジナル曲を手掛け、演奏活動を展開させ、現在に至る。

代表者：TETSUYA

YUKI / MIYU



『あそかの園 同朋太鼓』は、平成16年4月より利用者療育支援の音楽療法として、活動を開始し今年で結成18年目となりました。

普段は多動な利用者の方でも、練習や舞台上でバチを握れば、真剣な様子で目の前の太鼓に臨まれ熱心に、なにより楽しそうに演奏します。

毎年、新しい曲を作って習得に励む中で法人の行事や地域、市内外のイベントにも出演させていただき、少しずつですが自信をつけ上達してきました。現在はコロナ禍で演奏の機会もずいぶんと減ってしまいましたが、少ないチャンスの中でも、多くの方々と交流を重ね、そのたびに応援をいただき利用者、職員共々喜び合っています。

私たちの活動を通じて太鼓を知り、太鼓を始めてみたいと思ってもらえることがなよりの喜びです。音楽療法としての側面以上に、人と人とを繋ぐ大切な役割も担っていると実感しています。多くの方との出逢いに感謝し、心を込めて元気いっぱい演奏します。

出場者13名

4

とよ なか わ だい こ こ び き
豊中ろう和太鼓クラブ「鼓響」

大阪府



平成3年11月10日、豊中市身体障害者福祉会創立40周年記念大会のアトラクションとして和太鼓を叩いたのがきっかけで、正式な発足は平成4年5月になります。

平成7年3月に豊中ろう和太鼓クラブ「ひまわり」から「鼓響」と改称し、現在に至っております。

「鼓響」とは音のない世界にいる者にも、響きが音として体に伝わってくるという意味でつけました。

響きを体で感じ演奏するという非常に限られた音楽表現ですが、聞こえないから出来ないのではなく、聞こえなくても努力すれば出来るという事を知って頂きたいのです。

練習は健聴者の方々の数倍、数十倍もの時間がかかります。集中力と体力勝負ですが、一つの事をやり遂げたいその思いと、日本の伝統芸能である和太鼓を一人でも多くの人に楽しんでもらえるよう、これからも練習に励んでいきます。

代表者：宮田千恵子

坂本 善美／藤原 幹男／川口 聖／小川 龍一／高橋 朗子

5

やまびこ^{だいこ}太鼓

福島県



私たち「やまびこ太鼓」は、福島県郡山市で平成11年に結成した親子で活動しているチームです。今年で23年目になります。「仲間と一緒に大好きな太鼓を楽しむ！」を合言葉に、毎週土曜日に練習を行っています。

音を合わせる、強弱をつける等々全員が意識して演奏出来るように取り組んでいます。

「全国障害者大会に参加する」はチームの目標でしたが、コロナ禍で大会が開催されなかった状況はとても残念でした。今回は3年ぶりに参加する事が出来て、改めて感謝の気持ちでいっぱいです。

心ひとつにして、やまびこ太鼓の元気とやる気を皆さんにお届けしたいと思います。宜しくお願いします。

代表者：三瓶 律子

三瓶沙弥香／吉田 輝／吉田 久恵／佐藤日出海／佐藤 京子／室井亜理沙
 室井春美恵／遠藤 正樹／遠藤トミ子／阿久津陽介／阿久津恵子／河治 勇志
 河治美代子／根本 樹／根本 裕子／三田 昌之／三田 幸枝／深江 恵子



私達「龍剣太鼓」は、太鼓が大好きで学校を卒業しても太鼓を続けたいと、石川県立明和特別支援学校和太鼓部のOB会として、平成24年に発足しました。過去本大会参加9回のうち、現役和太鼓部員・OB会の合同チームでの参加は7回、OB会のみでの参加は3回目となります。私達「龍剣太鼓」OB会は、毎年6月に開催される来場者40万人を超える「金沢百万石まつり」のオープニングセレモニー 280人の太鼓演奏にも参加していました。

今大会は全国の仲間の素晴らしい演奏を聴きたい、また大会に参加して自分達の演奏も聴いてもらいたいと、安江信寿先生の熱いご指導を受けて、この日のために練習に励みました。

今日は皆で気持ちを1つにして「一生懸命！元気よく！」演奏したいと思います。

代表者：安江 信寿

林 芳樹／若林 美香／伊藤 祐介／米田 優一／小室 駿／小林 源大
谷中 天紀／中田麻莉愛

7

か い の わ だ い こ し ん き ょ う か い
甲斐乃和太鼓 心響会

山梨県



平成27年6月に立ち上げた「甲斐乃和太鼓 心響会」というまだまだ未熟のチームです。障害者と健常者がお互いに助け合い、チームワークを大事にしながら和太鼓のノーマライゼーションを目指して活動しております。チーム名のとおり聞く人たちの心に響くような太鼓が打てるようにと、日々練習に精を出しております。

その心に響く太鼓を打てるのは果たしていつの日になるのかと、夢だけは大きく持って毎週土曜日の夜練習に励んでおります。

只、新型コロナウイルス流行の為に、イベント等がほとんど中止されてしまい練習の成果を生かす場が無くなってしまったのが残念でたまりません。一日も早い新型コロナの終息を願うばかりです。

まだまだ未熟のチームですが全国の皆さん、どうぞよろしくお願い申し上げます。

代表者：小野 智弘

杉山 悠美／齊藤 里恵／齊藤三輝成／狐塚 亮／山地 隆公／神田 弘樹
遠藤 大成

8

いし かわ けん りつ がっ こう ふう じん だい こ
石川県立ろう学校 風神太鼓

石川県



「風神太鼓」は、石川県立ろう学校の中学部の生徒全員によるチームです。生徒たちから学校記念式典で和太鼓を演奏したいとの要望があり、外部講師として安江信寿氏をお招きし、今年で25年目となりました。全員が膝でリズムを取り、お互いに見合って意識して目を合わせ、掛け声を掛けながらリズムを合わせようとする気持ちを大切に、一生懸命演奏することを目標としています。そしてその一生懸命さが観客の皆様に伝わるよう、意識しながら練習に取り組んでいます。

今年度は新たに3名の1年生を迎え、6名のチームで3年生が中心となり、安江先生たちと共に、私たちの今年の音を創り上げてきました。

今日は全員の心をひとつにして、一生懸命演奏します。私たちの「野火」聴いてください！

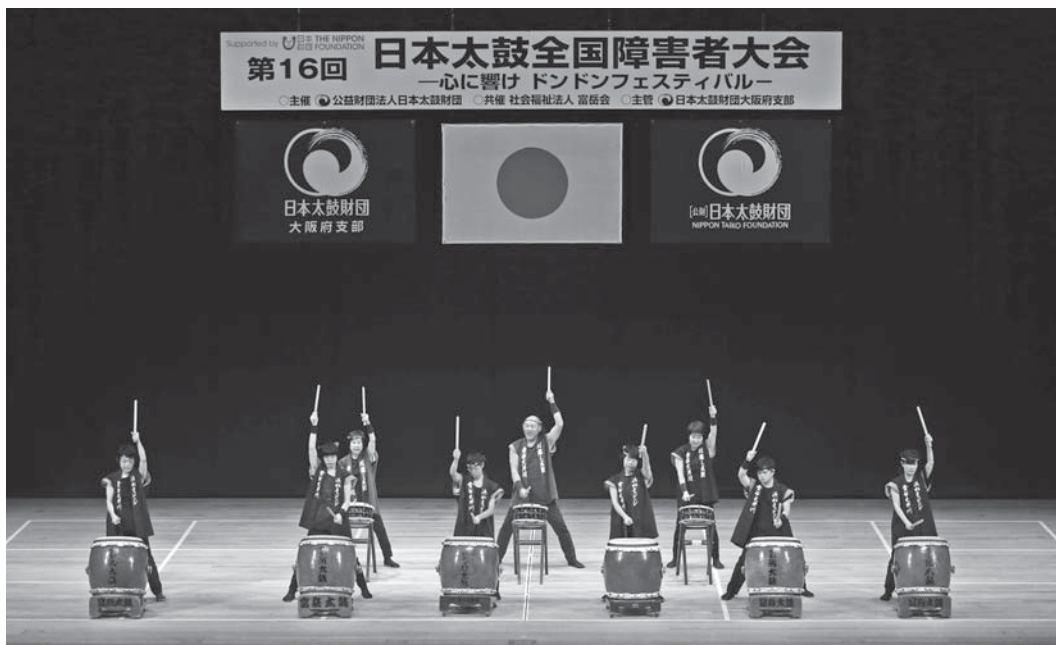
代表者：中山 博子

池田 珠杏／平江 優真／松田和日葉／駒井 將清／二角 凜子／山本 海翔

9

かな や おお い がわかわ ご だい こ はままつ
金谷大井川川越し太鼓浜松チャレンジチーム

静岡県



私たち、浜松チャレンジチームは、平成21年5月に障がいを持つ子とその親で結成をしました。全国大会への参加は、今年で10回目となります。

金谷大井川川越し太鼓の和田先生をはじめ、小玉先生と塚田先生に、月1～2回、浜松までお越しいただき、公民館を借りて練習をしています。

地元で行われているコンサートや金谷大井川川越し太鼓の皆さまとチャリティコンサートに参加させていただき、楽しく元気に演奏をしています。

今日も一生懸命、演奏いたします。よろしく願いいたします。

代表者：斎藤 寿見

斎藤 悠希／斎藤 香織／佐藤 佑紀／佐藤千佳代／松浦 光／松浦真由美
 三原 京子／三原まゆみ／和田 光則／原田慎太郎／塚田 利恵／小玉恵美子
 武田ひろみ

10

い ず いりょうふくし 伊豆医療福祉センター どんつく・やわら太鼓

だい こ
静岡県



「ほくもたいこやりたい」そんな小さな一言からこの2つの太鼓チームが生まれました。私たちは、静岡県伊豆の国市を拠点に活動しています。

それぞれのチームの個性はありますが、どんつくのメンバー淳樹さんの作調した曲を共有し、どんつくロック、青嵐、かざぐるま、潮騒など全国大会でも演奏してきました。

コロナ禍で太鼓が出来なかった時期に、やわら太鼓のまとめ役あっこさんが闘病の末、亡くなりました。そして、淳樹さんとの急なお別れは、昨年12月でした。コロナが落ち着いたら、復習から練習を始めようといっている矢先でした。

コロナとともに生きる時代になり、太鼓も少しずつ出来るようになってきました。

これからも、あっこさんが繋いでくれた絆と淳樹さんの残してくれた曲を大切に活動していきます。

代表者：渡邊 誠司

菅尾 勇治／岡本 文子／石井 鉄兵／佐賀 翼／谷口 蓮／真寫 花鈴
濱村 岳翔／玉置 真也／大倉 瑠斗／渡邊 宏太／小池健太郎／渡辺 旭陽
小林 悠太／前田 健伺／鈴木 尊代／大澤 奨平／森 祐子／藤間 裕生

11

いわぶちぐみ 岩淵組

東京都



私は聴覚障がい者です。東京都出身で3歳の時、高熱により聴力を失いました。

2009年、聴覚障がい者の太鼓公演を初めて観て感銘を受け、自分も太鼓をやりたいと思い、翌年、聴覚障がい者の太鼓団体に入会いたしました。自分の可能性にチャレンジし、技術を極めるために太鼓教室等でスキル向上に取り組んでいます。私にとっては、太鼓はかけがえのないものであり、生きがいを感じています。太鼓の音を身体と心で深く感じ取って楽しみながら頑張りますので、応援よろしくお願いします。

代表者：岩淵 行雄
小林香菜子

12

おおいた けん いとぐち がく えん いとぐち だいこ
大分県糸口学園 糸口太鼓

大分県



糸口太鼓は、大分県宇佐市にある福祉型障がい児入所施設、大分県社会福祉事業団「大分県糸口学園」のご利用児で結成した和太鼓チームです。当園では、運営方針の特性を伸ばす支援の一環として、「伸びる芽を育てよう」を合言葉に、文化活動として和太鼓、スポーツ活動として陸上競技に取り組んでいます。

1994年に発足し、たくさんの児童が和太鼓の楽しさや喜び、難しさや厳しさを感じながらも、聴いてくださる方に和太鼓演奏で感動を届けていくことを次の代へとつないでいながら歴史を積み重ね、今年度結成28周年を迎えることができました。

多くの方々から応援を受けることがメンバーの励みになり、自信や成長、明日への糧となっています。

代表者：徳田 宏幸

首藤 誠人／江本 伊吹／代 豊／二木 翔太／矢野 真人／田中 慶
渡辺 和樹／堀 真菜美



国府支援学校和太鼓部は高等部の希望する生徒たちが集まって打ち込み続けている部活動です。そして今年で創部23年（うち和太鼓クラブ10年）目を迎えることができました。

主な活動は、地域の行事などに演奏で参加するだけにとどまらず、高等学校文化祭や近畿高文祭など高校の大会にも出場し、切磋琢磨の中で和太鼓のみならず伝統芸能を継承するものとして技術を磨いています。昨年度はパラリンピック聖火出立式での演奏、そして本年度は全国インターハイでのオープニング演奏を行いました。

部員一同、聞いている人々に喜んでもらえる演奏を常に目指し日々努力を重ねています。

代表者：板東 宏治

平岡 萌／前田 正規／飯島 快斗／新居 徹也／矢上 顕充／福井 聡
鎌田 真美／中村 愛美／辻 大和／七條明日香／川田 紘輝／小原 堅支
武田 悠河／州崎 賢真



1983年日本チャリティ協会の方から和太鼓を演奏してみないかと、社団法人東京都聴覚障害者連盟に話が持ち込まれたことをきっかけに「社団法人 東京都聴覚障害者連盟文化部/東京ろう者と太鼓倶楽部」が発足、1984年プロ団体大江戸助六太鼓に入門。

1984年8月、聴覚障害者の組として耳が聞こえなくとも、身体で響きを感じて「太鼓は心で聴いて、心で打て」と宗家より、大江戸助六流「鼓心会」と名を頂く。

入門して以来、メンバー5～8名が太鼓稽古をして、舞台上で発表が出来るまでに育つ。

2005年3月聴覚障害者の組「鼓心会」が解散。2008年4月に「鼓友会」に改名。大江戸助六太鼓流の太鼓を打ち続けたいという心構えに宗家 小林正道氏が再度、愛のムチを打つことになる。少数の太鼓に対する思い入れをひとつの心にする為に「鼓友会」として、再出発。

2019年で結成36周年目。新たにろう者による音楽活動の啓蒙を中心に多くの人達へろう者の太鼓演奏を見ていただくこと尚且つ交流会を中心に活動している。

現在はメンバーの減少によりままならないこともあるが、宗家より師事いただいた伝統打法を大切に今後とも伝えていきたいと思う所存である。

代表者：加藤智差子

15

ファミリーユニット ^{どっ} ^こ 童鼓

岐阜県



私達「ファミリーユニット童鼓」は障がいを持つ子どもたちと、その親により和太鼓の演奏をしているグループです。子ども達に太鼓の楽しさを教え、人前で堂々と発表できる子どもたちとその家族が、力をあわせてひとつになり、そしてそれぞれの家族が、重要な役割をもち、すなわち「ファミリーユニット」となってこの演奏活動を行っております。

太鼓の練習を継続することにより子どもたちは、太鼓の技だけではなく、がんばれる力、集中力、そして人を思いやる心も育ちます。

また、たくさんの発表に場を経験することにより、もっと上手になりたいという向上心、やり遂げた達成感、それらすべてが、子どもたちの自信につながっています。

子ども達も成人した今後も、変わらず元気に活動していきたいと思えます。

代表者：児島 和夫

渡邊 朋子／渡邊 史浩／中島 幸子／中島 寛文／児島 秀美／児島 康寛
川口 清美／川口 舞／高橋 貴子／高橋 秀徳

16

ひとみ^{たいこ}太鼓

兵庫県



兵庫県の南東部に位置し、神戸市の市街地より六甲山系を越えて北へ約25キロメートル、大阪市より北西へ約35キロメートルのところにある、三田市を拠点として、2009年6月に視覚障がい者の和太鼓グループ「ひとみ太鼓」を結成しました。

太鼓をたたきたいの思いから始まり、13年の月日が流れました。決して楽な道ではありませんでしたが、みんなで力を合わせ乗り越えてきました。2014年には「ひとみ太鼓結成5周年記念公演」を開催し感動のうちに幕を閉じることができ、私達にとっては至福の時間をいただきました。

令和になり、コロナ感染等により、全ての活動が中止となり、多くの太鼓仲間が去ってしまいました。その後、視覚障がい者と協力者の四人となりましたが、今回はこの四人で力強い演奏をいたします。目が見えなくても、見えづらくても、今できる事を探し懸命に前を向き活動をしています。

現在は「ひとみ太鼓」として、市民向けの啓発活動「目の日のつどい」や地域での夏まつりなどのボランティア演奏、また日本太鼓全国障害者大会など、目標にして取り組んできました。難しいかもしれませんが、これからも地域での活動を継続して幅広い方々に感動をしてもらえる演奏を目指して行きたいと思っています。

代表者：西岡 良子

田中 徹／中西 早苗／佐々木智文

17

え な だい こ
恵那のまつり太鼓

岐阜県



恵那のまつり太鼓は、平成元年に3名の職員が静岡県にある富岳太鼓さんに太鼓を学び、二尺一寸の太鼓と孟宗竹からスタートしました。

障がい者支援事務所の利用者・スタッフで構成され、現在レギュラーメンバーは、利用者さん14名と職員5名です。主に、施設の行事や地域のお祭りや県内外のイベント、障がい者大会などに参加しています。その他、太鼓クラブとして重度の障害の方を含め太鼓好きの12名が昼休みなどを利用して練習を行っています。

リズムや打ち方を打ちやすくアレンジしますが、身に着くには時間がかかり、作業後の時間を使って何度も繰り返し練習をしています。大変なこともありますが、その分、やりがいや達成感があります。楽しむ気持ちと一生懸命打つ気持ちで演奏しています。

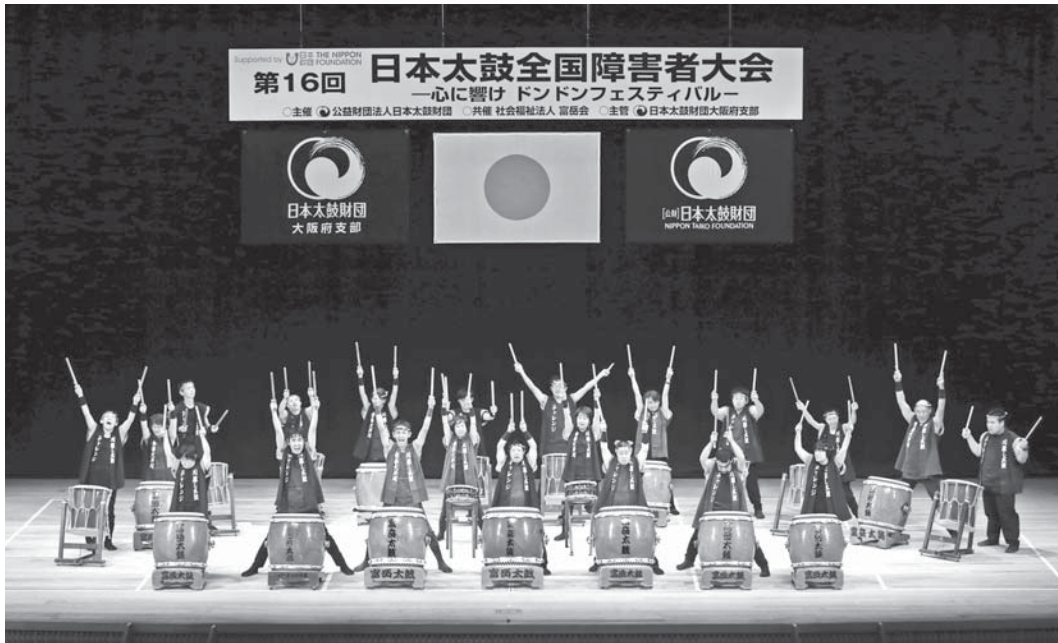
代表者：小坂 孫次

伊佐治 工／安藤 利夫／安藤 恵一／井口 恵一／伊藤 佳央／後藤 健治
 春田 信也／古田 浩史／武川 勝則／伊東 鉄也／吉村 健／大黒 純也
 長尾 和子／田中 里美／八澤 正弘／酒井 薫／外山 和紀／山内 成倫
 西尾美乃里

18

かな や おお い がわ かわ ご だい こ
金谷大井川川越し太鼓チャレンジチーム

静岡県



私達チャレンジチームは平成10年に産声をあげ今年で23年目となります。初めは少ない人数から始まり、今では30人とふくれあがりました。入門した子供達が小学生となり、中学生となり、又社会人となりそれぞれがんばっています。チャレンジチームもやっと軌道にのったかな、と思います。手さぐりで始めたチャレンジも一曲一曲とおぼえて、今6曲目になりました。スタッフが覚えやすいような曲をつくり、皆でがんばっています。

メンバーの一人は、太鼓貸してと言って、親と一緒に一人で太鼓演奏に行くまでに成長してくれました。これからも多くの友達をつくり楽しい太鼓をたたいて何にでもチャレンジしていきます。皆様よろしくお願ひします。

代表者：和田 光則

増田 和馬／塚田 利恵／小玉恵美子／武田ひろみ／原田慎太郎／池久保 葵
 森本 絵里／岡崎真知子／萩原 学／斎藤 悠希／小林 彩桂／鷺坂 裕紀
 山内 大佑／山内 学／酒井 勝則／酒井 光枝／増田 芳宏／岩堀 巧誠
 園田 康貴

日本太鼓全国障害者大会開催実績

第1回日本太鼓全国障害者大会

日時:1999年7月25日(日) 場所:静岡県コンベンション・アーツセンター・グランシップ(静岡県静岡市)
出場団体:13団体 観客数:1,000名

第2回日本太鼓全国障害者大会

日時:2000年6月17日(土) 場所:御殿場市民会館(静岡県御殿場市)
出場団体:14団体 観客数:1,000名

第3回日本太鼓全国障害者大会

日時:2002年1月20日(日) 場所:御殿場市民会館(静岡県御殿場市)
出場団体:19団体 観客数:1,000名

第4回日本太鼓全国障害者大会

日時:2002年9月22日(日) 場所:恵那文化センター(岐阜県恵那市)
出場団体:17団体 観客数:1,000名

第5回日本太鼓全国障害者大会

日時:2003年9月6日(土) 場所:青山劇場(東京都渋谷区)
出場団体:18団体 観客数:1,200名

第6回日本太鼓全国障害者大会

日時:2004年10月3日(土) 場所:諏訪市文化センター(長野県諏訪市)
出場団体:21団体 観客数:1,000名

第7回日本太鼓全国障害者大会

日時:2005年10月30日(日) 場所:ガレリアかめおか(京都府亀岡市)
出場団体:22団体 観客数:1,000名

第8回日本太鼓全国障害者大会

日時:2006年9月10日(日) 場所:郡山市民文化センター(福島県郡山市)
出場団体:19団体 観客数:2,000名

第9回日本太鼓全国障害者大会

日時:2007年10月7日(日) 場所:御殿場市民会館(静岡県御殿場市)
出場団体:25団体 観客数:1,300名

第10回日本太鼓全国障害者大会

日時:2008年10月5日(日) 場所:文京シビックセンター(東京都文京区)
出場団体:26団体 観客数:1,000名

第11回日本太鼓全国障害者大会

日時:2009年10月18日(日) 場所:石川県こまつ芸術劇場うらら(石川県小松市)
出場団体:24団体 観客数:800名

第12回日本太鼓全国障害者大会

日時：2010年10月17日（日） 場所：フィットネスハウス・アリーナ（千葉県成田市）

出場団体：29団体 観客数：1,000名

第13回日本太鼓全国障害者大会

日時：2011年10月16日（日） 場所：郷の音ホール（兵庫県三田市）

出場団体：28団体 観客数：1,000名

第14回日本太鼓全国障害者大会

日時：2012年10月21日（日） 場所：御殿場市民会館（静岡県御殿場市）

出場団体：28団体 観客数：1,000名

第15回日本太鼓全国障害者大会

日時：2013年10月6日（日） 場所：文京シビックホール（東京都文京区）

出場団体：35団体 観客数：1,100名

第16回日本太鼓全国障害者大会

日時：2014年10月5日（日） 場所：大東市立総合文化センター（大阪府大東市）

出場団体：34団体 観客数：1,100名

第17回日本太鼓全国障害者大会

日時：2015年10月4日（日） 場所：石川県こまつ芸術劇場うらら（石川県小松市）

出場団体：26団体 観客数：800名

第18回日本太鼓全国障害者大会

日時：2016年10月2日（日） 場所：大垣市民会館（岐阜県大垣市）

出場団体：27団体 観客数：800名

第19回日本太鼓全国障害者大会

日時：2017年10月1日（日） 場所：御殿場市民会館（静岡県御殿場市）

出場団体：27団体 観客数：1,000名

第20回日本太鼓全国障害者大会

日時：2018年10月7日（日） 場所：文京シビックホール 大ホール（東京都文京区）

出場団体：30団体 観客数：900名

第21回日本太鼓全国障害者大会

日時：2019年10月6日（日） 場所：倉敷市玉島文化センター（岡山県倉敷市）

出場団体：29団体 観客数：800名

第22回日本太鼓全国障害者大会 *新型コロナウイルスの影響により中止

第23回日本太鼓全国障害者大会 *新型コロナウイルスの影響により中止

2022年度の事業活動予定

■日本太鼓ジャンボリー 2022

期 日：2022年 4月26日（火）
場 所：国立劇場大劇場（東京都千代田区）
主 管：関八州太鼓連合、日本太鼓財団東京都支部
出演団体：11団体

■第7回大学太鼓フェスティバル

期 日：2022年 8月26日（金）
場 所：江戸川区総合文化センター（東京都江戸川区）
共 催：大学太鼓連盟
主 管：関八州太鼓連合、日本太鼓財団東京都支部
出演団体：12団体

■第6回浅草太鼓祭

期 日：2022年11月 3日（木・祝）
場 所：隅田公園山谷堀広場（東京都台東区）
主 管：関八州太鼓連合、日本太鼓財団東京都支部
出演団体：15団体程度

■美ら島おきなわ文化祭2022「太鼓の祭典」

期 日：2022年11月 6日（日）
場 所：名護市民会館 大ホール（沖縄県名護市）
主 催：文化庁、厚生労働省、沖縄県、沖縄県教育委員会、名護市
名護市教育委員会、美ら島おきなわ文化祭2022沖縄県実行委員会
美ら島おきなわ文化祭2022名護市実行委員会、公益財団法人日本太鼓財団
主 管：日本太鼓財団沖縄県支部
出演団体：27団体

■第19回日本太鼓シニアコンクール

期 日：2022年11月20日（日）
場 所：こまつ芸術劇場うらら（石川県小松市）
主 催：公益財団法人 日本太鼓財団、公益社団法人 石川県太鼓連盟
一般財団法人 石川県芸術文化協会、北國新聞社
主 管：日本太鼓財団石川県支部、北陸三県太鼓協会
出場団体：30団体程度

■第25回日本太鼓ジュニアコンクール

期 日：2023年 3月19日（日）
場 所：金沢歌劇座（石川県金沢市）
主 管：日本太鼓財団石川県支部
出場団体：50団体程度

公益財団法人 日本太鼓財団概要

<設 立 日> 1997年11月11日

<公益財団移行日> 2012年4月1日

<資 産> 基本財産 3億円

<加盟支部数> 47支部（43都道府県）

<加盟団体数> 約670団体

<会 員 総 数> 約18,000人

<役 員>

会 長	長谷川 義	豊の国ゆふいん源流太鼓代表・全九州太鼓連合名誉最高顧問
理 事 長	大澤 和彦	常 勤
副 会 長	高野 右吉	高野右吉と秩父社中代表
常務理事	佐々城 清	常 勤
理 事	浅野 昭利	(一財) 浅野太鼓文化研究所理事長
理 事	石井 幹子	(株) 石井幹子デザイン事務所代表取締役社長
理 事	中西 由郎	元 (一財) 日本モーターボート競走会監事
理 事	山内 強嗣	(福) 富岳会理事長

<評 議 員>

評 議 員	岩切 邦光	全九州太鼓連合会長
評 議 員	岡田 知之	前 (公社) 日本吹奏楽指導者協会会長
評 議 員	河合 睦夫	越中いさみ太鼓保存会相談役・富山県太鼓協会名誉会長
評 議 員	佐藤 淳子	元 (一財) ライフ・プランニング・センター理事
評 議 員	高島 肇久	(学) 津田塾大学理事
評 議 員	古屋 邦夫	御諏訪太鼓保存会会長・中日本太鼓連合会長
評 議 員	宮崎 義政	銚子はね太鼓保存会会長・千葉県支部支部長
評 議 員	渡辺 洋一	太鼓集団天邪鬼代表・関八州太鼓連合会長

<監 事>

監 事	伊藤 勝彦	弁護士 ITN法律事務所
監 事	竹村 葉子	弁護士 三宅・今井・池田法律事務所

(五十音順・敬称略)



〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-11-2
日本財団第二ビル 6 階
Toranomom 1-11-2, Minato-ku, Tokyo 105-0001, Japan
Tel (03) 6205-4377 Fax (03) 6205-4378
URL : <https://www.nippon-taiko.or.jp>
E-mail : info@nippon-taiko.or.jp